

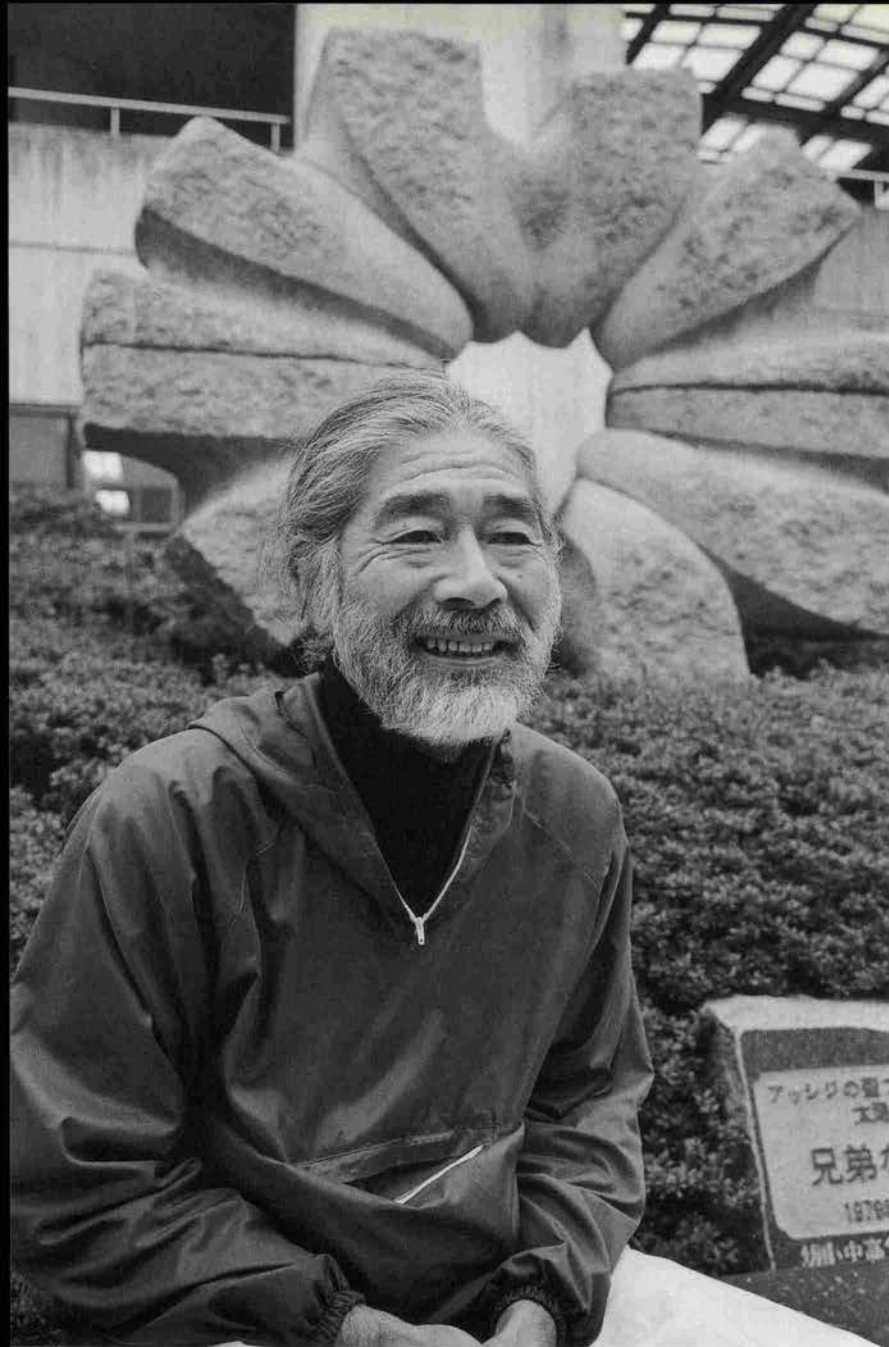
KOBECCO '99

大垣

圭介

KEISUKE OGAKI 〈彫刻家〉

## 芸術を通して実践の教育を



撮影／米田英男

神戸市東灘区出身。市立湊川高等学校卒業後、金沢美術大学に入り現在の道歩み始めた。大学卒業後は市立葦合高等学校の美術教師として教鞭を取ったが、学生運動の最中、時代の波の中でもまれ一旦教職を離れた。その後、再び市立芦屋高等学校で教師生活に戻る。「激動の時代を乗り越えられたのは神戸で過ごした三年間の高校時代があったから。何が起ころうとも恐いものはなかった」。さまざまな文化が入り交じり、人々と関わりを持つ中で精神的な強さ、心の広さが高校時代に生まれたという。

現在は宝塚の自宅に工房を構え、制作活動を行うとともに仁川学院に勤める。二十三年間教務に携わる傍ら、アッシジの聖フランシスコの「兄弟なる太陽の賛歌」という詩を石の彫刻として具象化する制作活動に取り組んできた。その詩には太陽、月、星、火、水、風、大地の七要素が含まれており、一九九八年の四月に風が六番目の作品として出来上がった。「人とそのキーワードがどう関わっているか、太陽でいえば、暖かさ、夜と昼、紫外線、生と死…など思いつく限りのイメージを考え、それを一つの作品で表現していく」。構想から制作まで一つの作品に二、三年が費やされる。「大自然に学び愛せよ、創造主に近づけ」。校訓の一節であるこの言葉は芸術家の意味付け、自分の存在を表す言葉でもあるという。机上だけではなく、校内で学生たちに制作している姿を見ることが実践の教育になっている。「学校のにぎやかさの中に身を置いていると非常に心地がよい」。彼のそばを学生たちが一礼をして通り過ぎていった。

KOBECCO '99

花柳

廸薫

MICHIKAORU HANAYAGI <日本舞踊家>

# 日本舞踊の伝道師として



撮影／丸山寛治

三歳より花柳芳迪門下にて、花柳流日本舞踊の手ほどきを受け、六歳で初舞台を踏む。宝塚音楽学校首席入学、その後宝塚歌劇団に入団し、多くのステージを経験した。

退団後、「幼い頃から身近にあった日本舞踊を本格的に始めたい」と師範の免状をとった。本来の意味を知り、それまで「動作」だったものに「色」がつき、風景が見えてきた」という。弟子をとり、育てるという通常の道をあえて選ばなかった。日本舞踊人口の減少を憂う声に、自らの経験をいかし、興味をもつ人を増やすことが使命に思えた。

せいぜい二十名のサロンのなムードの中で実演やクイズ、質問を交えながら、歴史的背景や四季折々の季節感とともに日本舞踊に親しんでもらう。「初めてみた」という人がほとんどだ。個人レベルでの活動に限界を感じることもあるが、「継続することで少しづつでも底辺を広げられたら」という。各種イベントや結婚式でのアトラクション等のプロデュース、演出も自ら手掛ける。

現在は花柳芳網氏に師事。歴史街道推進協議会関西フォーラムに参加し、一昨年にはワシントン、ミネアポリスにて舞踊公演を行うなど、国際文化交流にも力を注いでいる。「日本舞踊を媒体に、四季の美しさや文化、歴史を映像を通して表現し、世界に紹介したい」と夢を語る。映像のイメージは、邦楽大和楽と重なった。メロディや歌詞の美しさ、現代人にもわかりやすい独特の世界に引かれ、神戸を本拠地に活躍する大和楽の第一人者、大和三千世氏に師事。名取（大和三千瑠）でもある。 <宇都宮>



貝原俊民兵庫県知事

## ◆新春さわやか知事対談

# 貝原俊民

〈兵庫県知事〉

# 中村桂子

〈J-T生命誌研究館副館長〉

二十一世紀まであと二年。成長から成熟の時代を迎え、人々の意識や価値観も、モノの豊かさから心の豊かさへと、大きく変わりつつあります。

新春にあたり、貝原俊民兵庫県知事と、生命科学や人間社会の関係についての研究を新たな概念で進められているJ-T生命誌研究館副館長の中村桂子さんに、新たな世紀に向けて、すべての人が生きる喜びを実感できる社会のあり方について語り合っていました。

### ★人類にとって二十世紀とは

知事 新年、あけましておめでとうございませう。

二十世紀も残すところ、いよいよあと二年となりましたが、いまわが国は、大きな曲がり角にかかっていると思います。

人口も経済も右肩上がりという成長型の若い国家から、もはや日本は成熟した段階に入りました。さらに、先進国の仲間入りを果たしたこれからは、環境や都市問題など地球規模の課題解決に向けて、その国際的責任がますます大きくなってまいります。

新たな世紀を間近にして、私たちは、効率性、利便性を優先してきた暮らしや社会のあり方を見直し、経済や行政をはじめ、あらゆる分野にわたって構造改革を進めていく必要がありますね。

中村 確かに、二十世紀は効率や進歩が重視され、皆が一列に並んで、とにかく早く一歩でも前へいこうとしていたと思います。そのために「生命」がないがしろにされたところがあります。

自動車やテレビといった機械は、一秒でも早く組み立てる工程を考えることによって、効率良くとくさんつくることが出来ます。しかし、生きものであるお米は、一年に一度しかつくれない

生きる喜びが実感できる

# ”こころ豊かな兵庫” をめぐして

いのです。その基本は、おそらく弥生時代から変わっていないでしょう。だから、誰も一カ月に一回お米を獲ろうとは思いません。時間をかけて育てないとおいしいお米にはならないことを、誰もが理解しているわけです。ところが、子どもには、早く早くと言ってしまいます。子どもも生きものなのですから、ゆつくりと、時間をかけて育てていかないといけないんです。

それともう一つ、生きものの特徴は多様性です。二十一世紀は、効率や進歩といった価値観と、生きものの持つ

時間や多様性という価値観を両立させたいですね。

知事 いまから百五十年前に、イギリスの著名な経済学者がその論文のなかで、「人口が増加せず、経済が成長しなくても、人間社会は大いに進歩することができると。また、人々の心が、先へ進むことはかりにとらわれなくなれば、真に豊かな生活が実現されることになる」と記述されています。まさに、今後はそうした時代になっていくのではないのでしょうか。

これまでの経済原則の一つはその効率性であり、資本や土地などのインプットをできるだけ小さくして、自動車や電化製品といったアウトプットをより大きくすることが重要でした。もちろん、インプットの要素である人間の労働も効率的に働くということが何より大切でありました。

「働く」という意味の英語には、「WORK」と「LABOR」の二つがあります。一般的にLABORは「労働」、WORKは「仕事」と訳されます。経済の効率性をひたすら追求する社会は、「働く」ことをLABORとしてとらえているのです。

中村 WORKの方には、働く喜び、つくる喜びがありますが、LABORには……。



中村桂子（なかむら けいこ）

東京生まれ。東京大学理学部卒業。東京大学大学院生物化学修了。三菱化成生命科学研究所、早稲田大学人間科学部教授などを経て、現職JT生命誌研究館副館長。大阪大学理学部客員教授。人間を40億年という生命の歴史と他の生物との関係の中で捉える生命誌を提唱し実践。研究館は誰でも訪れることができる。著書「科学技術時代の子どもたち」「自己創出する生命」「生命誌の扉をひらく」「あなたの中のDNA」など

知事 成長から成熟の時代を迎えたこれからは、もう「働く」ということを効率性を優先したLABORではなく、WORKという観点で考えていくことが必要でありましょう。つまり、アウトプットの豊かさではなく、モノをつくる喜びやその過程を大事にするインプットの豊かさが強く求められてくると思いますね。

中村 昔は、技術のことを「ART」と言っていました。「TECHNOLOGY」と言うと機械や効率が思い浮かびますが、ARTというときは手を使い楽しんでつくっていくという、人間らしさがあります。ですから、技術の中に私がつくったんだというART的な感覚を呼び戻せば、人間の「働く」という意味は、WORKになってくるのでしょうか。

知事 あの阪神・淡路大震災では、ボランティア活動がかつてない広がりを見せました。とりわけ、社会的な関心が薄いと言われてきた若者たちの活躍は目を見張るものがありました。彼ら自身も、お金では買えない大切なもの、つまり、深い感動や人間として生きる充実感を得たのではないのでしょうか。

私たちは、物質的な豊かさを追い求める余り、人が人として幸せに生きる

ための原点である。"こころの豊かさ"を置き去りにしてきたのではないかと思えます。未曾有の大災害は、この"こころの豊かさ"の大切さを改めて私たちに教えてくれました。

中村 人間の生きものとしての本質は変化しているわけはありませんから、現在の若い人たちも、"こころの豊かさ"を求めてはいたのですが、それを何に求めていくべきなのかが分からなかったんです。

極限のときだけでなく、日常、つまり家庭や地域でそういう行動ができるような社会づくりをしていかなければなりません。

#### ★全ての世代が暮らしやすい社会

中村 スウェーデンに娘が長く暮らししていたので、よく訪れたのですが、豊かで暮らしやすい社会を築いています。自然と一緒に暮らしながら、技術も一流。それと社会的実験をする国ですね。たとえば、お年寄りと小さい子どもが近くにいるような暮らしのまちをつくってみたいですね。そして、それが少し人工的すぎるのであれば、また変えてみるというようにします。しかも住民がその決定に関わります。

それに比べて、日本人は少し一本道

を急ぎ過ぎていますね。

知事 そうですね。明治維新から百三十年余り、日本はひたすら近代化と経済の繁栄に努めてきました。まちづくりにあってもその方向は同様で、利便性と効率性に比重が置かれてきたのではないのでしょうか。

明治初期には、四千万人たらずであった日本の人口は約三倍に増加。しかも経済発展に伴って都市に人口が集中し、その地価は高騰しました。そこで、若い人を中心に多くの住民が郊外の住宅地に移り住みましたので、都心部では高齢者の割合が上昇して空洞化が進み、郊外のベッドタウンでも住民間のつながりは十分とはいえません。一方、都市への人口流出が続いた農山漁村においては過疎・高齢化がさらに進んでいます。

このように、いまわが国では、都心と郊外、農山漁村を問わず、豊かな人間関係が失われつつあり、それを礎とする地域コミュニティも育まれにくい状況にあるのです。

中村 確かに現在の日本では、同じ世代が偏って住んでいて、昔のように何世代かで、みんな一緒に住むという形がなくなっていますね。

知事 少子・高齢化が加速するなか、今後のまちづくりにあつては、かつて

わが国の下町にあつたような心の通いあつた地域コミュニティの形成が大きな課題です。そこで、公園や図書館、美術館、さらには日常生活に必要な利便施設といった"共用空間"を住民の身近なところに確保し、まち全体が一つの生活空間となるような"人間サイゾのまちづくり"を、兵庫の全土で進めていこうと考えています。

そうすることで、温かいふれあいのある地域コミュニティが大きく育まれていくことになり、子どもも高齢者も、すべての世代の人々が安全で安心して、しかも健全に生活していくことができると信じています。

中村 すばらしい考え方だと思います。私たちの親の頃は、都市では住宅が多く、家を持つことは少なかったですね。みんなが使えるものが多くあるまちは魅力的です。図書館が身近にあれば、狭い家に本棚をつくらなくてもいいし、いつでもフラックと行けるスポーツ施設も欲しいです。

日本の社会は、高度成長期に、持つことを競うような風潮になりました。個人で持つのではなく、みんなで共有して使うことを大事にする"人間サイゾのまちづくり"を、ぜひ、日本でのモデルとして取り組んでいただきたいと思えます。

## ◆新春さわやか知事対談

生きる喜びが実感できる

”**こころ豊かな兵庫**”  
をめぐして

★明日を担う子どもたちを育む

**知事** 中村さんの著書「科学技術時代の子どもたち」を拝読し、「生きる」ことの価値観のとらえ方に大変感銘を受けました。

**中村** ありがとうございます。本の中でもふれていますが、人間にとって一番身近な自然とは、実は人間です。特に大事なものは、三歳から六歳ぐらいまでの間に、家族や近所の友たちなど、良い人間関係をつくることです。そういう人間関係の中で自分も一緒にどう暮らしていけばいいのかを知ることが、最初に自然を知ることだと思います。

そういう関係ができると、たんぽぽが咲いていたり、チョウチョや鳥も飛んでいたりする、町の中のそんな小さな自然に目が留まるのです。そして、自分と違う生きものも身の回りにいることが分かってきます。そうすると、山や海という大きな自然を見たときに、その大きさが実感できるようにになります。身近で小さな自然から分かっています。そのプロセスが大事なんですね。

いま、学級崩壊という問題が起きていますが、それも、子どもが自分と先生との人間関係のつくり方が分からなくなっているからではないかと思えます。人間関係づくりのプロセスを踏まらずに、親と子の関係から急に先生と自

分の関係へつなぐのは難しいですね。先生に対して自分はどうしなければいけないかが分からなくて、勝手放題にしてしまうのです。上手に小さいときから伝え続けて、段々に積み上げていかないとできないことでしょう。

**知事** 兵庫県では、小学校五年生を対象に五泊六日の「自然学校」を実施しています。これは、学校から離れて、自然の中で日々の暮らしでは味わえない感動体験を積んでもらおうというものです。最近の子どもたちは、自然とふれあう機会が少なくなっていますから、非常に貴重な経験になっています。

また、平成十年度から、中学校二年生を対象に、「トライやる・ウィーク」を始めました。これは、実社会の体験学習を一週間にわたって行うものです。全国的にも反響が大きく、文部大臣も視察にこられました。

**中村** どんなことを体験するのですか。  
**知事** 福祉施設でのお年寄りの介護、保育園での園児の世話、スパーマーケットでの販売など、中学生が自ら選んだ職場や施設でさまざまな活動を行っています。実施後のアンケートを見ると、親との対話が増えたという感想が多く寄せられています。これは子どもたちが実社会を体験し、大人の社会を知ることによって、人間関係に広がりを持つたからではないでしょうか。

こうした感動的な体験を積み重ねていくことによって、「生きる力」と「豊かな心」が大きく育まれていくものと確信しています。

**中村** 私は、以前から教育は県ぐらいの単位で地域が競いあえばよいと思っています。兵庫県の先進的な取り組みに大いに期待いたします。

★生きる喜びが実感できる兵庫づくり

**知事** 二十一世紀の日本のあり方を先導するという気概を持って、兵庫の持つ素晴らしい地域特性や交流基盤を最大限に活用しながら、この魅力あふれる県土全体が県民一人ひとりの生活空間となるような成熟した地域社会の創造に取り組み、誰もが生きる喜びを実感できる「こころ豊かな兵庫」の実現をめざしてまいります。

**中村** 知事さんがおっしゃられるような「こころ豊かな」地域社会が実現すれば、お年寄りや子ども、女性、身体障害者の方といった、これまでは社会的弱者と呼ばれた人たちの持っている力が活かされる時代が来ると思います。すべての人が自らの力を発揮できる場を見出せる社会が、兵庫県で実現されることを願っています。

(ホテルオークラにて)

# 神戸市の広報番組

テレビ・ラジオでも市政のことがわかります  
ぜひ、見たり、聴いたりしてみてください

## 1. テレビ

### 「ウィークリー神戸」

●サンテレビ

毎週土曜日 午後5時15分～5時30分

身近な情報を絡ませながら、市の施策・制度や市民による地域活動などをわかりやすく紹介しています。

### 「神戸レポート'99」

●サンテレビ

毎週第3日曜日 午後10時～10時30分

身近な話題について市の取り組みや市民・事業者の活動などを紹介しながら、復興のまちづくりを考えます。

## 2. ラジオ

### 「サンデー神戸」

●AM KOBE 558

毎週日曜日 午前9時～9時30分

西條遊児・久保佳代の軽妙なおしゃべりと音楽を交え、神戸の話題を紹介しています。

### 「あじさいインフォメーション」

●AM KOBE 558

毎週月～金曜日 午前8時8分～8時13分

市の施策や催し、生活情報などを紹介しています。

### 「コウベ アーバン クルージング」

●Kiss-FM KOBE

毎週土曜日 午前10時30分～11時

神戸でのイベントや観光情報などをポップな音楽にのせて紹介しています。

### 「ウォーク アラウンド コウベ」

●Kiss-FM KOBE

毎週木曜日 午後3時10分～3時20分

神戸でのイベントや観光情報などを紹介しています。

### 「AMUSEMENT TELEPHONE fromハローステーションKobe」

●Kiss-FM KOBE

毎週金曜日 午後2時35分～2時40分

ハローステーションKobeのインフォメーションレディーが、イベントや観光情報などを紹介しています。

## 3. ケーブルテレビ

### 「こうべチャンネル」

(各ケーブルテレビ局の5ch)

市の施策、文化・イベント情報などを文字放送で紹介しています。

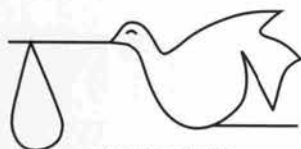
## 4. インターネット

### 神戸市のホームページアドレス

<http://www.city.kobe.jp>

問い合わせ：神戸市広報課

TEL.078-322-5015



SAMOTO CLINIC

佐本  
産科

## ママといっしょに

赤ちゃん：木挽 直哉 君

(平成10年5月7日生まれ)

ママ：千佳さん

パパ：裕友さん

「丈夫で元気な子に育って下さい」



★佐本産科・婦人科★  
佐本 学

神戸市兵庫区中道通4-1-15

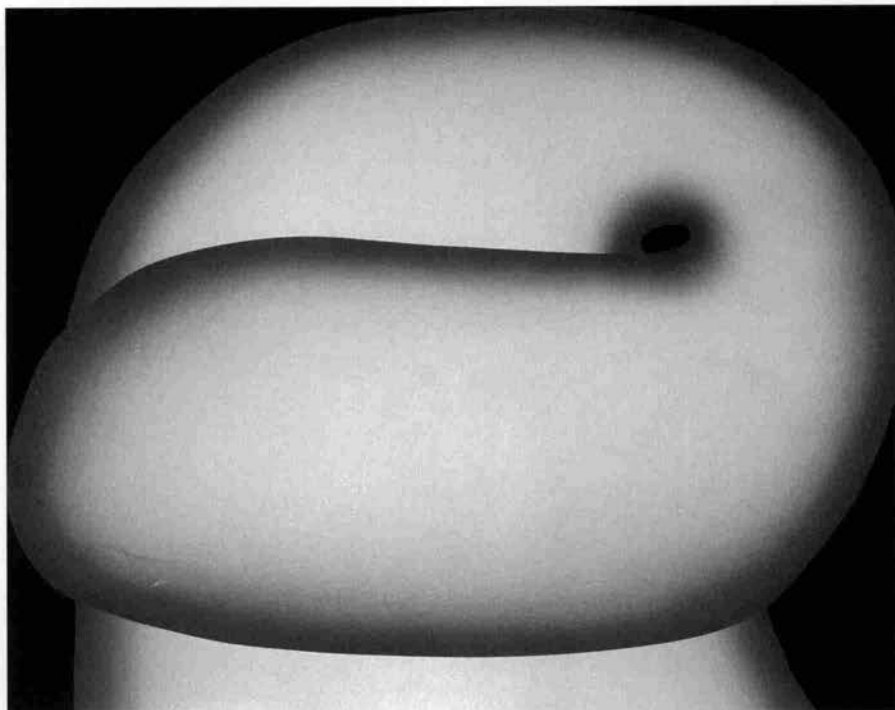
TEL:078-575-1024 (病室TEL:078-577-7034)

市バス上沢4 停南スグ

●駐車場完備●

あ・け・ま・し・て・お・め・で・と・う・ご・ざ・い・ま・す

January.1st.1999



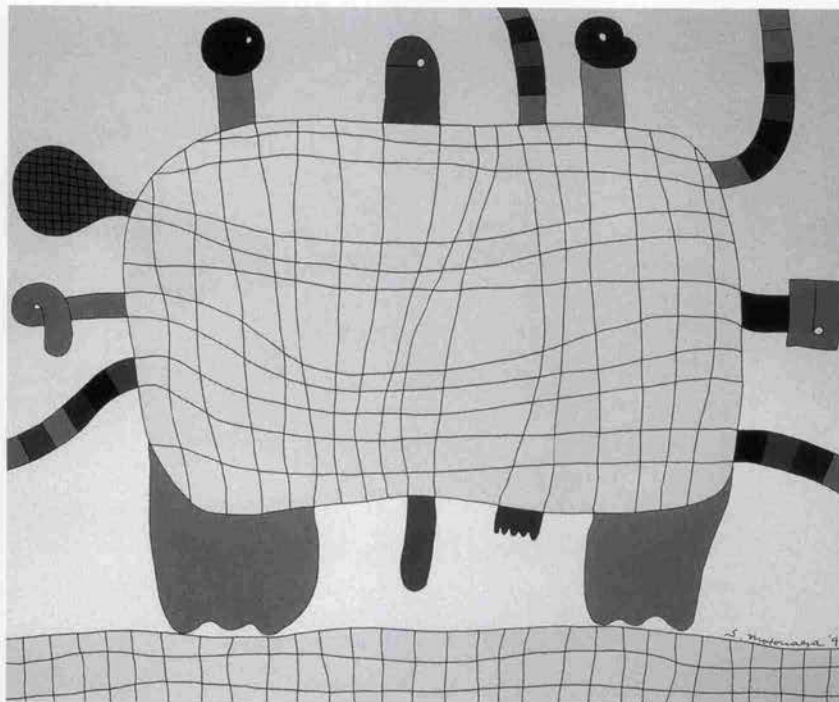
絵・元永定正

<p>つりばなびと 創花人 ミモザグループ主宰 佐藤 悦枝</p> <p>神戸市中央区下山手通5-8-14-703 TEL&amp;FAX 078-341-5605</p>	<p>丹波焼延年窯 市野 弘之</p> <p>多紀郡今田町上立杭449-1 TEL 0795-97-2212 FAX 0795-97-2649</p>	<p>神戸ニュー・ウェーブ・シアター委員会 委員長 松尾 忠雄</p> <p>明石市魚住町鴨池1-17 TEL&amp;FAX 078-947-9652</p>
<p>神戸マリンパソサエティ 代表 宮本 慶子</p> <p>神戸市灘区曾和町2-4-7 TEL&amp;FAX 078-821-6838</p>	<p>知香流 家元 成瀬 香梅 副家元 成瀬 香泉</p> <p>神戸市灘区深田町2-3-4 TEL 078-851-8113</p>	<p>兵庫県いけばな協会 会長 中山 景甫</p> <p>神戸市中央区下山手通5-10-1 兵庫県生活文化部芸術文化課内 TEL 078-341-7711 内線2851</p>
<p>米田フォト YONEDA PHOTO 米田 定蔵 米田 英男 森田 篤志</p> <p>神戸市長田区池田寺町11-10 TEL 078-691-3547 FAX 078-641-0289</p>	<p>須磨琴保存会 会長 小池 弘三 順範 小池 美代子 三浦 徳子 山崎 八重子</p> <p>神戸市須磨区須磨寺町4-6-8 須磨寺内 TEL 078-731-0416 FAX 078-731-6859</p>	<p>財団法人 小原流 理事長 小原 規容子</p> <p>神戸市東灘区住吉山手4-12-70 TEL 078-811-0871 FAX 078-843-0244</p>

(順不同)

# あ・け・ま・し・て・お・め・で・と・う・ご・ざ・い・ま・す

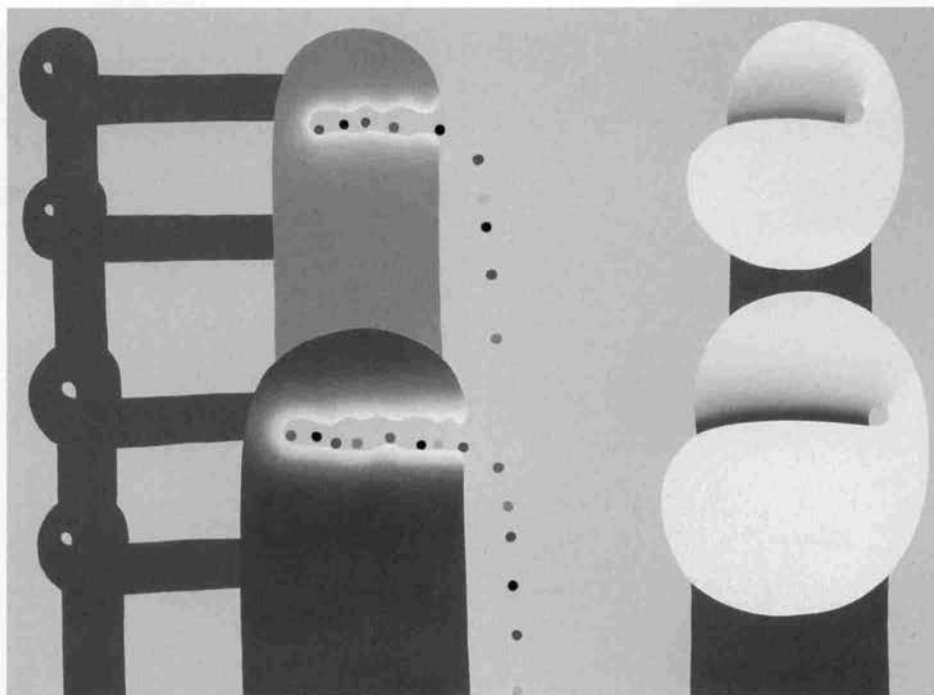
January.1st.1999



<p>若由会</p> <p>会主 若柳 吉由二 5月30日(日) 神戸文化大ホールにて 第9回チャリティ公演「おどり花鳥風月」 よろしくお願ひします。</p> <p>神戸市垂水区平磯4-2-3 TEL 078-706-0113</p>	<p>大和楽</p> <p>理事長 大和 三千世 大和 礼子</p> <p>神戸市中央区中山手通7-1-15 TEL 078-341-3653</p>	<p>みやび流押絵 家元二代目 小西 絹甫</p> <p>4月29日～5月3日 来迎図を心斎橋大丸で 展示の後、高野山へ奉納いたします</p> <p>芦屋市公光町3-15 TEL&amp;FAX 0797-34-1001</p>
<p>社団法人 能楽協会</p> <p>理事・神戸支部長 吉井 順一</p> <p>西宮市甲子園砂田町5-3 TEL&amp;FAX 0798-47-7651</p>	<p>一東書道会</p> <p>会長 井茂 圭洞 —あくなき現代かな芸術の求道者— 深山龍洞遺作展 会期 1月3日(日)～11日(月) 会場 神戸阪急ミュージアム 同時開催 一東書道会代表作家展 神戸市兵庫区水本通4-1-19 TEL 078-577-1001</p>	<p>山田流 琴苑会 宝塚音楽学校器楽科講師 小倉 美紗能</p> <p>宝塚音楽学校新校舎が完成、琴教室も広く機能的 に設備され日本伝統芸に注いで下さる配慮に感謝。 指導に精一杯努めます。</p> <p>神戸市灘区畑原通5-3-15 TEL&amp;FAX 078-861-6091</p>
<p>詩人 岡本 真穂</p> <p>絵と誌のジョイント展今年も三回する予定です 日本画家 好井信子さんと「女と桜」という テーマで今年の一回目を予定しています</p> <p>神戸市東灘区向洋町中5-1-522-1306 TEL 078-857-1193 FAX 078-857-1194</p>	<p>トランスパレンフラワーデザイナー</p> <p>松本 志津子</p> <p>神戸市中央区北野町4-8-11 TEL 078-331-8687 (エコー) TEL 078-371-5801 (大倉山)</p>	<p>関西日印文化協会会長 日本ネパール文化友好協会会長 神戸ユネスコ協会名誉会長 桑原 泰業</p> <p>神戸市北区鈴蘭台東町9-7-26 TEL&amp;FAX 078-591-5633</p>

あ・け・ま・し・て・お・め・で・と・う・ご・ざ・い・ま・す

January.1st.1999



がれりや馬亜乃 染色教室

白石 弘子

年を重ねるごと、染の色も鮮かにと希っています。  
おめでとうございます。

神戸市中央区北野町4-9-6  
TEL&FAX 078-242-5005

4月1日より元町・大丸ミュージアムで  
念願のKOBETでの展覧会を開催します。  
見に来てくださいね♥



永田 萌

神戸ネオトロピカル協会

会長 森 美代子  
代表幹事 藤本ハルミ

神戸市中央区山本通2-2-7  
TEL 078-242-5690  
FAX 078-222-5875

ガラスアート

ガラスアーティスト 三浦 啓子  
あけましておめでとうございます。  
今年も制作に心を燃やします。

西宮市甲陽園目神山町21-12  
TEL 0798-73-0878  
FAX 0798-73-7737

関西和装学院

学院長 原 仁美

新年 おめでとうございます  
今年も きもの文化を伝承いたします

神戸市須磨区禅昌寺町1-11-1  
TEL 078-732-0693  
FAX 078-736-3535

貞松・浜田バレエ団

◎制作リサイタル10  
1月24日(日) 新神戸オリエンタル劇場  
◎貞松・浜田バレエ学園創立44周年記念発表会  
3月27日(土) 大阪フェスティバルホール  
4月2日(金)・3日(土) 神戸文化大ホール

神戸市灘区畑原通3-6-6  
TEL 078-861-2609  
FAX 078-801-0308

筑前琵琶 柴田旭堂会  
神戸旭会

会長 柴田 旭堂

神戸市中央区上筒井通5-4-2  
TEL 078-221-1161  
FAX 078-272-0908

日本舞踊

花柳 五三輔

神戸市長田区西山町4-7-11  
TEL&FAX 078-621-3209  
教室 TEL 078-576-7725

女声アンサンブル・女声合唱団  
エコ・エレガント代表

声楽家 有川 隆子

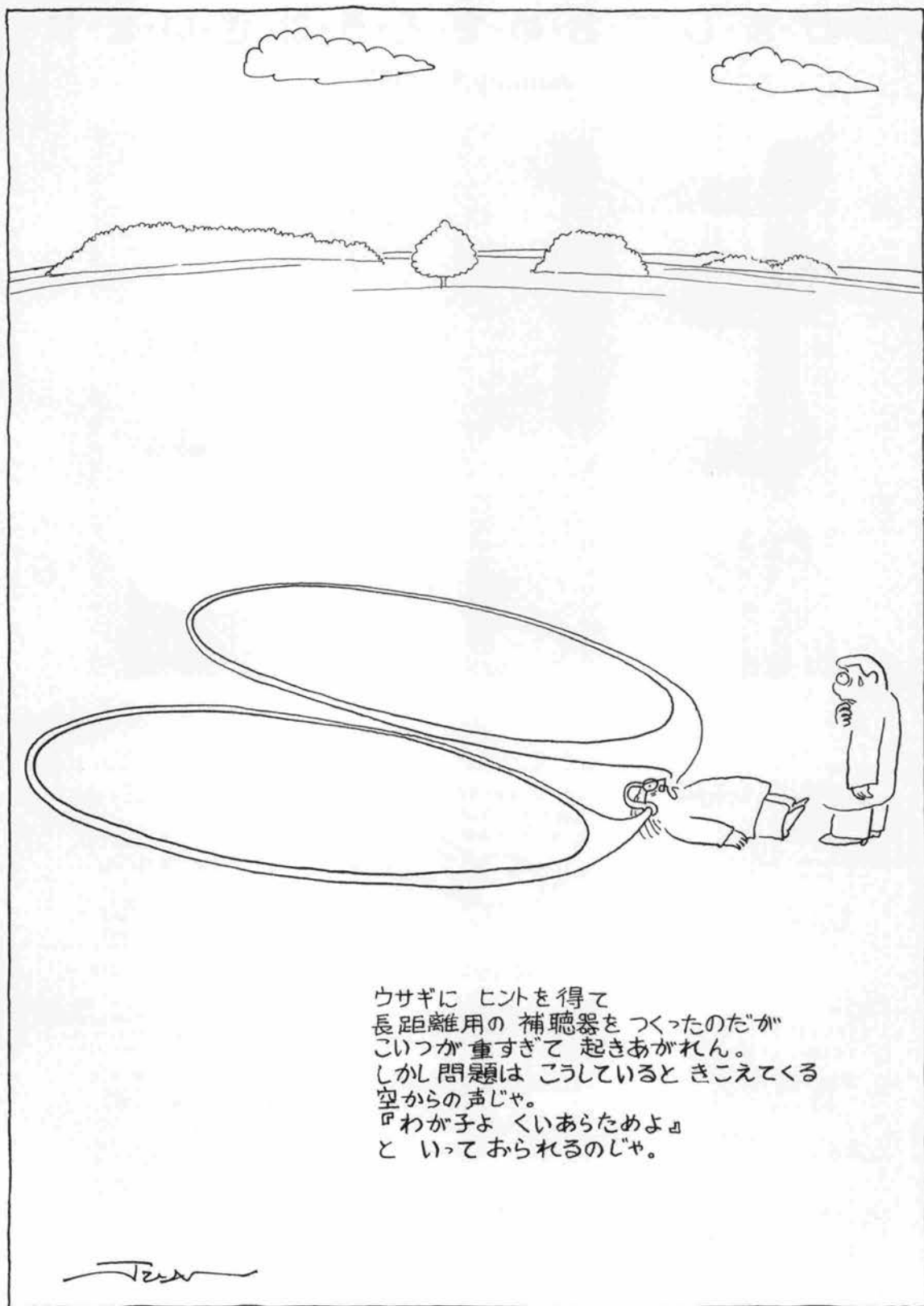
女声アンサンブルエコ・エレガントはおかげ様で  
今年創立35周年を迎えました。  
女声合唱団エコ・エレガントは創立16年目。  
両団共、「心から心への歌」を目標にしています。

神戸市灘区青谷町4-1-11  
TEL&FAX 078-861-8766

(順不同)

# おなじみプロフェッサーPの研究室

—岡田 淳—



—岡田 淳—

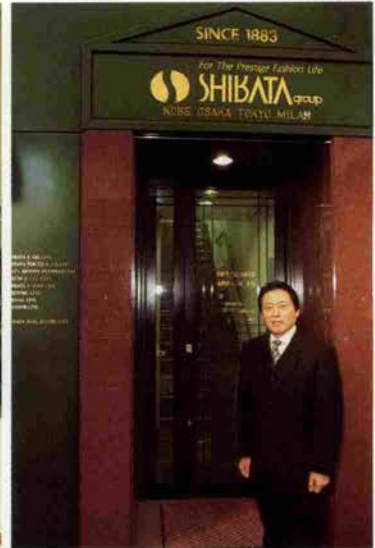
# 謹賀新年

1999年 元旦

創業115周年を記念し、  
名門アニオナ社特別製カシミアの導入を決定  
(イタリア)



「欧風館・神戸」本社2階では職人さんたちの熟練の技を間近で見ることができる。  
左から川口さん、工場長・稲沢さん、チーフ・宇野さん



元町4丁目本社ビル前にて。4代目柴田晋吉社長

## ●新春特別インタビュー

「アニオナ社の特別製カシミアを発売されるということですが、どのようなきっかけがあったのですか。」

柴田 6年ほど前から、ジバンシーとクリツイアの高級ゾーンで限定コレクションとしてアニオナ社に発注していましたが、昨年、115周年を迎えたことをアニオナ社のオーナーであるアルベルト・イリノニ氏（兄）とマツシモ・イリノニ氏（弟）にお話ししたところ、大変感激してくださって、「ぜひ、世界中にどこにもないものを作ろう」とこの度の話になりました。

アニオナ社は、イタリア北西部ピエラ地方アニオナ村にある世界最高級ウールメーカーで、そこで作られるカシミア100%コート地は素材、色とも他に類を見ない素晴らしさです。当社のためにアニオナ社が特別に製織したカシミアは、流水加工を施して水をはじき、なおかつ手ざわりが変わらないように作られたもので、この品質は恐らく世界で初めてでしょう。色合いもカラフルで、15色を揃えています。

「いつ頃からお店にはいるのでしょうか。」

柴田 9月頃に皆様にお届けできると思っています。世界中の、どのブランドでも決して手に入らないものですから、当社にとっても大変画期的なことと喜んでおります。

「とても楽しみな1年になりそうですね。」



本社 神戸市中央区元町通 4-2-22 TEL.078-334-2250  
西日本営業本部 大阪市中央区高麗橋 2-1-11 (柴田グループ第3ビル)  
東日本営業本部 東京都中央区八丁堀 2-21-11 (柴田グループ第7ビル)  
ヨーロッパ事務所 7.VIA DEL VECCHIO POLITECNICO, MILANO

柴田商事株式会社  
東京柴田商事会社  
金門株式会社

株式会社柴田晋吉商店  
有限会社オー・エス・ソーイング  
株式会社サンロイヤル

柴田不動産株式会社

# 花と緑あふれるステージ 「淡路夢舞台」

平成12(2000)年に開催される  
国際園芸・造園博「ジャパンフロー  
ラ2000」。その中核施設となる  
「淡路夢舞台」は、緑豊かな自然と  
ふれあう感動を提供する。



津田貞之

兵庫縣公営企業管理者・舞臺舞臺代表取締役社長

皆様にはお健やかに新春をお  
迎えることとお慶び申し上げま  
す。

兵庫縣が中心に進めています  
「淡路島国際公園都市」は、来年  
3月には概成し、国際園芸・造  
園博「ジャパンフローラ200  
0」(3月18日～9月17日)が開  
催されます。

「淡路島国際公園都市」建設  
地は、土砂採取跡地に植栽等を  
施すことにより、一度失われた  
自然を再び蘇らせる自然回復型  
のプロジェクトとして、全国的  
にも注目を集めています。

その中核施設である「淡路夢

舞台」は幅広い会議需要  
に対応する「国際会議  
場」、高品質なサービス  
を提供する「ウエステイ  
ンホテル淡路リゾート&  
コンファレンス」、ここ  
でしか味わえない食体  
験やショッピングが楽  
しめる「展望レストラ  
ン・物販店」、数多くの  
植物にふれあえる「温  
室」、様々なイベントが  
開催できる「野外劇場」  
などで構成されており、  
現在、ランドオープンに向け  
まして、精力的に準備を進めて  
いるところです。

アクセスも大阪から明石海峡  
大橋を渡って車で約60分、三宮  
から約30分という好立地にあ  
り、高速舞子からバスを利用す  
るのも便利です。都市近郊リゾ  
ートとして必要な機能を備えて  
おり、ファミリーやグループで  
気軽に訪れることができる行楽  
地や近畿・四国・中国地方周遊



の中継地としての役割を果たす  
ことはもちろん、各種会議、研  
修等のビジネスユースへの対応  
も万全です。

「淡路夢舞台」は文字通り、21  
世紀に向けて人々が集い、交流  
する舞台となり、訪れるお客様  
に「ゆとり」と「くつろぎ」、そ  
して緑豊かな自然とふれあう感  
動を提供する「花と緑あふれる  
ステージ」となります。

どうぞご期待ください。

# 關帝廟震災復興

神戸の華僑たちの心の拠り所關帝廟が2月14日、震災復興



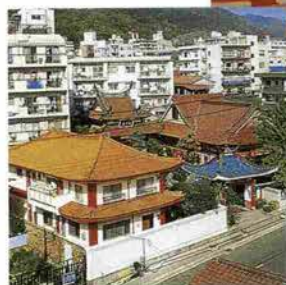
中門



本堂（金堂）



四阿（あずまや）



關帝廟全景



唐獅子

關帝廟は、日本の伝統的な建築に中国風の意匠や様式をとり入れ、他に例を見ないユニークな中折衷です。しかし、大震災で多大な被害を受け、大規模な修理・改修を迫られることとなりました。これを機に古き佳き特徴をいかしながら、新しい技術をとり入れて再建復興いたします。また、修復工事にあたられた金剛組に、深く感謝いたします。

高橋

關帝廟の歴史は古く、その前身である長栄寺が移築されたのは一八八八年です。神戸港開港以来、關帝廟は多くの華僑が移り住み、中国と日本の接点でもあった「神戸」を象徴する建造物になりました。福建、広東、台湾、香港、山江、北方など出身地の異なる華僑たちを精神的にまとめる役割を果たしています。華僑の心よりどころである「關帝廟」が、震災復興したことは、華僑にとっても大変喜ばしい限りです。



李睿明さん

社団法人中華会館理事長

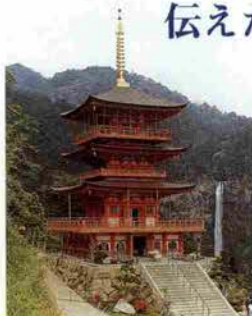
（社）中華会館理事長  
李睿明さんに聞く

株式会社 武田設計

武田 則明

〒651-0097  
神戸市中央区布引町2丁目1番12号  
コタニビル402号  
TEL (078) 271-8062  
FAX (078) 271-8054

伝えたい、残したい、私達の思いです



西暦578年、百済の国より三人の工匠達が日本に招かれた時から、我が国の寺社建築の歴史は始まります。初めての日本で、様々な障害や困難を克服しながら、ただ一心に四天王寺を完成させた工匠達。うち一人は、金剛組の初代当主である重光で、彼は四天王寺を守る命を受け、そしてその使命は全うされます。仏への帰依の心が、異国に

おける彼らの糧となり、励ましとなり、歴史の1項を飾る事業となったのです。

私達金剛組は、先人の伝えたかった「建築物への心」を次の時代に継承する使命を受け、その実現に向けて、今日も心をひとつに取り組んでいます。

寺社建築から、現代建築まで。

株式会社 **金剛組**

本社 大阪市天王寺区四天王寺1丁目14番29号 〒543-0051 TEL06-779-7731 (代表)

◆文武両道の合宿 神崎郡沙羅の郷を訪ねて

出でよ！二十一世紀の地球維新の志士たち

# 「青年立志塾」

今井啓介 今啓パール社長



左から有馬正能先生、林英臣先生、今井啓介社長



今井社長を囲むご一家



明治維新の志士について講義する林先生

## ★二十一世紀の坂本龍馬を

この乱世に、「平均的俗人」として、自分だけの幸せを追い求めるのか。それとも志を立てて、意味ある生き方をめざすのか。文武両道の合宿によって、己を見つめ直し、自己確立をめざそうと、十二月五・六日の両日、兵庫県神崎郡の沙羅の郷で、一泊二日の「青年立志塾」が行われた。「青年立志塾」を呼びかけたのは今啓パール社長・今井啓介さん。「日本の戦後は植民地化してしまっている。これは、日本の教科書から歴史が抹消されたからにはかならない。世界の文明転換期に備え、我々は真実の歴史を学び、身体を鍛えて先ず健康から考え方の基本を学ぼうではないか」。

十二月五日、沙羅の郷には激動する二十一世紀の坂本龍馬、西郷隆盛をめざして三十数名の有志が参加。その中には、今井社長の長女一子さん、長男一之介くん、と一ノ介のお友だち。

## ★人生開花が日本を救う

実習指導(講義)の講師は松下政経

第一期生で、現在、文明法則史学研究所所長をつとめる林英臣先生。神戸で林先生の定期講演会が開催されているが、日本の将来を青年に託したいとの願いを込めて、青年立志塾に企画することに。

「文明史には、八〇〇年の準備期と八〇〇年の文明期が存在します。この文明サイクルに従えば、今がその転換期にあたり、二十一世紀以降に日本を含む東の文明に高調期がやって来ると予想されます」。

しかし、環境問題、教育崩壊、政治の混乱、毒物事件：現在、日本は亡国状態を迷走しています。このままでは、二〇三〇年頃に日本は滅びてしまうでしょう。

明治維新には黒船来航から僅か十五年の間に、吉田松陰、坂本龍馬、西郷隆盛、橋本左内といった歴史に名を刻む志士が活躍しました。彼らは将来の日本を案じ、世界と日本を見ること(大局観察)、日本の歴史を考えること(原点認識)、志をたてること(自己確立)の三つの観点から日本の将来を考えました。

世の中が困っているときに、志を立てて、地球・人類の平和・幸福のため人生を開花させなければなりません。



少林寺拳法を終えて、参加者一同記念撮影



少林寺拳法を指導する有馬先生



懇親会で挨拶をする今井社長

せん。志を立て、熱意をもってとり組むところから人生開花は始まります。日本の将来を担うのがあなた方なのです」

少林寺拳法の指導にあたったのは神戸大、神戸商大、神戸商船大の監督でもあり西宮市少林寺拳法連盟理事長の有馬正能先生。有馬先生は日本に少林寺拳法を伝えた宗道臣先生とは師弟関係にある。少林寺拳法の基本動作である足位法、手技、足技、突蹴を実演指導。初心者には、西宮西少林寺道院、神戸大の有段者の皆さんが、マンツーマンで指導してくださった。

有馬先生は「少林寺拳法は単に肉体を鍛えて強くなるものではありません。肉体と精神の修行によって、自分が頼りとする自己を確立

し、自信、勇氣、正義感を身につけ、己を鍛える修行です」

有馬先生のお言葉通り有段者の皆さんによる試合を見ていても納得。勝敗にこだわるのではなく、負けてもダルマ大師の教え、不撓不屈の精神で立ち向かっていく勇ましい姿がある。

### ★遅しくなった参加者たち

五日の夜には、懇親会が開かれた。今井社長による乾杯の音頭のと、しゃぶしゃぶと今井社長がもち寄った土佐の地酒に舌鼓。宴もたけなわ、ここで林先生が、参加者一人ひとりのユニークな自己紹介を提案。まずは、林先生が自らがお手本を見せることに。

コンチハ

私 誠に僭越ながら自己紹介させていただきます

私 お茶と鰻で名高い

遠州は浜松

下町出身の厄(運)歳四十一歳

松下幸之助が開塾しました

松下政経塾を卒業

林先生は渾身の力をこめて自己紹介。参加者たちも林先生に続けとばかりに、元氣よく後に続く。合宿の最後をしめくくったのは「志の表明と激励」。一人三分の持ち時間も忘れ、参加者たちは熱弁をふるった。

「現在、学者に無断で科学技術を危険なことに悪用している場合が多い。この風潮を阻止しなければ」とは、ある理学生。

こうして合宿も終了。一泊二日の短い修行だったが、その成果は計り知れない。林先生、有馬先生、今井社長のご指導にふれて、参加者たちも己を見直す絶好の機会になったはず。参加者たちも遅しくなった。

将来の日本のため 日本の明日を開け！ 平成の志士たち！

### 神戸栄える会 平成11年4月～平成12年3月

講師 師 林基臣先生 時間/18時30分受付18時～21時  
場所 全盛パル  
会費 法人会員10000円  
個人会費/2000円 ビジター3000円

- 1/25月 年讀立志マングラ作成、「西郷南洲遺訓」に学ぶ
- 2/22月 やまごころ伝説 天岩屋戸ごもりと美天鏡
- 3/8月 やまごころ伝説 まとめと全体観
- 4/19月 世界を牛耳れ 松下幸之助塾長はこう語った
- 5/17月 平成の松下村塾 東林志塾の建塾の精神と五誓

- 6/21月 アジアの時代の大国 中国5000年興亡史
- 7/19月 論語と仁の心 孔子に学ぶ正当性の確立
- 8/23月 命より大切なものがある 孟子に学ぶ義と志
- 9/20月 善人が報われない理申 性善説に学ぶ心の裏の読み方
- 10/18月 カスマの人間力 墨子の改革思想と熱血集団
- 11/22月 無・愚・拙・柔 老子に学ぶ人物の器量
- 12/20月 超然たる生きざま 莊子に学ぶ東洋的達人への道
- 1/24月 戦う前に勝つー孫子の兵法
- 2/21月 チャンスを捉えろー 吳子の兵法
- 3/6月 変革期のリーダー学 六韜・三略の兵法

「J・ムーバー」シリーズから新たなメッセージ

# Let's エンジョイ ホンダHR-Vで行く六甲山



六甲山頂でティータイム。遊び方も無限に広がる

ホンダが提案する

「Small is Smart」とコンパクトなクルマの新しいものさしで、いままでにない「楽しさ」「JOYFUL」を提案する楽しき創造車「J・ムーバー」。「J・ムーバー」の第2弾として登場したのがHR-V。今回は、運転にも余裕を慣れてきたという女子大生コンビに体験ドライブを楽しんでいただきました。めざすは六甲山頂へ！

## ★次世代型スタイリング

HR-Vは、「ハイライダー」スタイリングを採用。街中での使い勝手を向上させるとともに、最低地上高190cmや3アングル（前・後・側面）のシャープさによりアウトドアでの走破性を高め、遊びのフィールドを広げる。若者を意識して、何よりカッコ良さを追求したスタイル、スリーク（なめらかで艶やか）で都会的なデザインは、今までのRVやセタ



藤本幸子 (22) =右/就職を控えちょびりブルーな女子大四回生。お父さんの愛車を我がもの顔で乗り回す。運転歴1年半。樋口恵理 (21) =左/アウトドア派の女子大三回生。お友だちとのドライブはもっぱら運転手役。安全運転が身上。運転歴1年。

## ★卓越した走破性能

ンにはない新鮮なもの。「HR-Vって斬新で未来的なデザイン、しかも4WDっぽくなって、都会的でスマートだし、女の子が乗りこなせたら絶対カッコイイ。早速、乗ってみようよ、恵理ちゃん」

さっそく乗り込む二人。「へえ、コン

パクトなフォルムなのに、室内は見通しがよく開放的だね」と幸子さん。「足元も広々してるし、肩の辺りにも余裕があつてロングドライブでも楽しめそう」幸子さんの運転で山道を快適にドライブ。「幸ちゃん、運転つまくなつたんじゃない



アイポイントも高く見通しも抜群



2段グローブボックスなら使い勝手もいい

「あ、六甲山頂に到着。「車庫入れは苦手で心配だったの」と幸子さんですが、見事ねらったスペースにパーキング。「ボディが大きい割に、小回りきいてスイスイ動かせる。これなら初心者でも安心だね」「街中でもキビキビ走れて、ショッピングのお共に最適!」ドライブの目的は「オープンエア・ティータイム」。

★人や荷物の乗せ方は自由自在

いい「私の腕じゃなくて、HR-Vのおかげ。山道でも安定よく走ってくれるし、エンジン音や振動もすごく小さいの!」HR-Vは、5速マニュアルミッションと無断変速機のHMM-S(ホンダマルチマチックS)を搭載。HMM-Sは滑らかなソフトコントロールを可能にするプロマステイク制御に加え、変速ショックのないスムーズな加速減速を実現。またステアリングに配置したスイッチで通常走向用のD(ドライブ)モードとキビキビした走りが楽しめるS(スポーツ)モードの切り替えが可能。



走行状況に応じた自然な変速切り換えで、スムーズな走りを実現

折り畳み式テーブル&チェアなどたくさんの荷物を積んできました。「リヤゲートが大きく開くから、荷物を出し入れしやすい」と幸ちゃん。恵理さんは、ラゲッジルームの広さを実感している様子。ワンモーションでフラットなカーゴスペースに早変わり。「リヤシートを半分だけ倒すこともできるから便利。これならスノボだって積めて、楽しみ方も無限に広がる!」



シートも広くてゆったり座れて、ロングドライブも快適

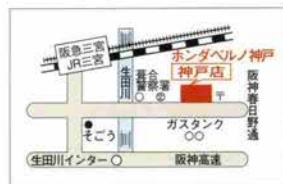


遊びに合わせて、人と荷物を自在にのせることが可能なマルチスペース



総代理店 ホンダベル神戸

本社 / 〒651-0076 神戸市中央区吾妻通3-1-8  
TEL.078-271-8677 (代)



ホンダHR-V

●価格/129.6万円(車体本体価格) ●主要諸元(JS4) / 型式GF-GH2、総排気量1.590cc、全長3995cm、全高1.590cm、最高出力125PS/6,700rpm(ネット値)、乗車定員5名 ●全タイプ主要装備/高席SRSエアバック、EBD付ABS、パワーウィンドウ(運転席側挟み込み防止機構付)、パワードアロック、全面高熱線吸収UVカットガラス、エアコンディショナー ●7色のボディカラーと6タイプのメーカーオプションが選べます。

■HR-Vに関するお問い合わせは、本田技研工業(株)お客様相談センターまで。全国共通フリーダイヤル

☎0120-112010

(受付時間/9時~12時 13時~17時)



スマートかつスポーティーなボディ

阪神・淡路大震災4周年記念事業・小磯良平没後10年記念事業

迎賓館壁画「絵画」・「音楽」展示  
**収蔵作品展Ⅳ** (展示室1)  
*Exhibition of Museum Collection*



小磯良平「絵画」1974年 迎賓館蔵



小磯良平「音楽」1974年 迎賓館蔵

同時開催：**第4回小磯良平大賞展** (展示室2.3)

'98年12月19日(土) - '99年2月21日(日)

**神戸市立小磯記念美術館**

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中5-7 TEL.078-857-5880

開館時間 = 午前10時—午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 = 月曜日、12月28日—1月4日

主催 = 神戸市・神戸市立小磯記念美術館

後援 = 読売新聞大阪本社

交通 = JR住吉駅・阪神魚崎駅のりかえ六甲ライナー  
「アイランド北口駅」下車すぐ(六甲アイランド公園内)

入館料 = 一般 500 (400)

高校・大学生 350 (250)

小学・中学生 200 (100)

\* ( )内は団体30名以上

\* 小磯良平大賞展と共通

*Kobe City Koiso Memorial Museum of Art*